

中部日本9県ライフル射撃協会
理事長 各位
事務局 各位

令和 2年 6月 1日

岐阜県ライフル射撃協会
会長 大野泰正

第34回中部日本ライフル射撃選手権大会開催中止のお願い

平素はライフル射撃競技スポーツの発展と振興に、ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

国は4月16日に緊急事態宣言が発令され、岐阜県をはじめ13都道府県が5月15日までの1か月間「特定警戒都道府県」に指定されました。

皆様方におかれましては、日々不安にさいなまれておられることと思います。

さて、新型コロナウイルスの猛威による感染者が、日本国内で17000名を超え、死者についても900名を超えています。

このようなことから、各競技団体ではすでに新型コロナウイルスの感染防止策として、競技大会の開催自粛や観戦者の参加を認めないことなど、競技大会そのものを中止または延期の処置が講じられています。

5月15日には緊急事態が解除となったものの、皆様方のご承知のとおり、8月に開催予定の全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会をはじめとし、各種イベントについても中止または延期となったこと、さらに、他県を跨る外出の自粛要請が出されているなど、現況では大会への参加選手及び関係者が県を跨ぐ行動となりオーバーシュートによる感染が懸念されます。

感染数の増加は若干緩やかになってきていますが、依然として予断を許さない状況に変わることはなく、中部地方からの移動や宿泊には感染のリスクが伴う流行の第二波への懸念があり、選手と大会関係者の十分な安全確保の術が難しい状況であります。

国内では、一度は対策が奏功したかに見え収束感はありますが、その後においても感染者数の増加が中部地方の地域においても認められます。

したがって、万全の安全を考慮し検討した結果、「正しく恐れて、冷静な感染予防を実行する」ことが、皆さまご自身や大切な方の命を守ることに繋がり、苦渋の策として令和2年8月30日に開催を予定しております「第34回中部日本ライフル射撃選手権大会」の開催を中止することに結論がいたりしましたので、各県ライフル射撃協会理事長をはじめとし、事務局および関係者の皆様方には、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。